

特定非営利活動法人 日本免疫学会  
平成 28 年度前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award  
研究発表報告書

申請者氏名	奥村 龍	会員番号	0033017
申請者の 所属・職名	大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学		
出席会議名	International Congress of Immunology 2016		
発表論文 タイトル	<u>Lypd8 maintains gut homeostasis by segregating flagellated bacteria and colonic epithelia</u>		

実施結果:

この度は平成 28 年度前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award に選出していただき、誠にありがとうございました。岸本忠三先生をはじめといたしまして、選考委員の先生方ならびに推薦して下さった竹田潔先生に厚く御礼申し上げます。

私は、2016 年 8 月 21 日から 26 日にオーストラリアのメルボルンで開かれた International Congress of Immunology 2016 に参加させていただきました。3 年に 1 回の開催ということで、世界中の著名な免疫学者が一堂に会するこの学術集会に参加できたことは、免疫学を学び、研究する者としてこの上なく有意義であり、様々な研究発表を聞きながら、そこで行われている方法論がどう自分の研究に応用できるかなど、様々なアイデアが頭をめぐり、自分自身の研究を深く見つめなおす貴重な時間となりました。

私は、8 月 23 日のポスターセッションで、大腸上皮に発現する Lypd8 分子が、大腸において腸内細菌、その中でも特に有鞭毛細菌の大腸上皮への侵入を防止し、腸管炎症の制御に大きく貢献しているという研究成果を発表いたしました。残念ながら、腸管粘液層の研究で私共より先行している Johansson 氏や Hansson 氏らにお会いすることはできませんでしたが、何人かの海外の研究者とディスカッションすることができ、自分の研究成果を評価していただくとともに、彼らからの質問から新たな研究課題を得ることもできました。またその中で、同年代の自然免疫研究者である National Taiwan University の Chiang 氏と友好関係を築くことができたことは、海外留学経験のない私にとって貴重な財産となりました。

Tadamitsu Kishimoto International Travel Award で選出していただいて得られた今回の経験を無駄にしないよう、ますます粘膜免疫学研究に精進していきたいと思っております。ありがとうございました。